

【評価基準表】

項目		評点	基準
1	規模・方法の妥当性	4	事業の規模・方法について対象者等の具体的なニーズに基づき、適宜見直しを行っている。もしくは、現段階では改善すべき点がない。
		3	事業の規模・方法について適宜見直しを行っている。
		2	事業の規模・方法について適宜見直しを行っているが、まだ見直しすべき点がある。
		1	事業の規模・方法について見直しを行っていない。
2	公平性	4	対象を限定しておらず、負担金等の受益者負担を徴している事業であり、受益者負担額が適切な事業である。
		3	対象を限定しておらず、負担金等の受益者負担を徴する必要がないと判断される事業、または対象が限定されており、負担金等の受益者負担を徴し、受益者負担額が適切な事業である。
		2	対象者が限定されており、負担金等の受益者負担を徴する必要がないと判断される事業、または対象が限定の有無にかかわらず、負担金等の受益者負担金を徴している事業であるが、受益者負担額の見直しを行っていない事業である。
		1	対象が限定の有無にかかわらず、負担金等の受益者負担を徴すべき事業であるが、受益者負担を行っていない事業である。
3	効率性	4	単位コストが低下傾向である。
		3	単位コストが維持または上昇傾向であるが、適時、単位コストの低下につながる取組みの見直しを行っている。
		2	単位コストが維持または上昇傾向であるが、単位コストの低下につながる取組みを行っているが、見直しを行っておらず、効果が生じていない。
		1	単位コストが維持または上昇傾向であり、単位コストの低下につながる取組みを行っていない。
4	成果目標達成度	4	成果指標の達成度が75%以上である。
		3	成果指標の達成度が50%以上75%未満である。
		2	成果指標の達成度が25%以上50%未満である。
		1	成果指標の達成度が25%未満である。 または、成果指標を目的（意図）の達成状況を把握するためのものに再検討を要する。
5	活動目標達成度	4	活動指標の達成度が75%以上である。
		3	活動指標の達成度が50%以上75%未満である。
		2	活動指標の達成度が25%以上50%未満である。
		1	活動指標の達成度が25%未満である。 または、活動指標を成果を達成するための手段として再検討を要する。